室町文化―東山文化

北山文化に対して、室町時代中期（15 世紀中・後期）の文化は東山文化と呼ばれる。名称は８代将軍足利義政が築いた東山の山荘を中心に、この時期の文化が展開したことに因む。武家の生活文化は成熟を示し、この時期に伸び始めた民衆の間に受け継がれた。後世に及ぼした影響も大きく、近代和風文化の基礎と言える。

○東山文化

●建築と庭園

＜建築＞

代表例は８代将軍(1)＿＿＿＿＿＿が建立した山荘である。

⇒山荘の一部である(2)＿＿＿＿＿＿＿＿の下層及び

(3)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は(4)＿＿＿＿＿＿という建築様式である。

◇（４）…寝殿造を発展させ、より多い間仕切（まじき）りと座敷が特徴

図１　東求堂同仁斎

＜庭園＞

水を用いずに、砂・石で山水自然を表現する(5)＿＿＿＿＿＿が、

河原者という造園の技術集団の手で、禅宗寺院の庭に造園された。

⇒代表例は(6)＿＿＿＿＿＿や(7)＿＿＿＿＿＿＿＿の庭園である。

◇（５）…目に見えない水を感じることが禅の精神に通じる庭園

◇（７）の庭園…峡谷を発した水がやがて大河となる全景を表現

図２　龍安寺庭園

図３　大徳寺大仙院庭園

●伝統文化の基礎

＜茶の湯（茶道）＞

(8)＿＿＿＿＿＿が茶と禅の精神を結びつけ、

簡素な座敷・道具で精神的深さを味わう(9)＿＿＿＿を創始した。

⇒（８）に次いで(10)＿＿＿＿＿＿が（９）をさらに簡素化し、

(11)＿＿＿＿＿＿がそれを引き継いで大成させた。

◇茶の湯…茶をたて客をもてなすことで、（９）は茶の湯の一種

…江戸時代以降、茶の湯は「茶道」とも呼称

図４　茶の湯

＜生花（花道）＞

生花の１つの様式として、座敷を飾る立花（たてはな）が確立された。

⇒名手として、(12)＿＿＿＿＿＿が有名である。

◇(12)…池坊花道の祖

図５　立花

●絵画

＜水墨画＞

明で学んだ(13)＿＿＿＿＿が(14)＿＿＿＿＿＿の作画技術を大成した。

⇒(13) の代表作は『秋冬山水図』『(15)＿＿＿＿＿＿＿＿＿』である。

図６　雪舟

＜大和絵＞

大和絵では次の２派が活躍した。

①(16)＿＿＿＿＿派：土佐光信（みつのぶ）が創始した大和絵の流派

②(17)＿＿＿＿＿派：(18)＿＿＿＿＿＿・＿＿＿＿＿父子が水墨画に大和絵の手法を加味し、新たに創始した絵画の流派

●彫刻と工芸

＜彫刻＞

能の隆盛につれて能面の制作が発達した。

図７　能面

＜工芸＞

漆工の分野で蒔絵の技術が発達し、

金工の分野で後藤祐乗（ゆうじょう）により技術が発達した。

図８　後藤祐乗の金工作品

●連歌

次の２人がそれぞれに独自の歌風を確立した。

①(19)＿＿＿＿＿が『**新撰菟玖波集**（つくば）』を編纂（へんさん）して、芸術的な(20)＿＿＿＿＿連歌を確立

②(21)＿＿＿＿＿が『**犬筑波集**（つくば）』を編纂して、娯楽的・庶民的な(22)＿＿＿＿＿連歌を確立

◇(19) …弟子たちと詠んだ『水無瀬三吟百韻（みなせさんぎんひゃくいん）』も有名

図９　宗祇

●学問と思想

＜学問＞

(23)＿＿＿＿＿＿＿が９代将軍**足利義尚**のために教訓書『(24)＿＿＿＿＿＿＿』を著した。

＜有職故実＞

東常縁（とうのつねより）は、『古今和歌集』の解釈を特定の者だけに伝授すべきと考えた（古今伝授）。

⇒この考えは、後に宗祇に確立された。

＜思想＞

神本仏迹説（しんぽんぶつじゃくせつ）（反本地垂迹説）に基づき、(25)＿＿＿＿＿＿＿が(26)＿＿＿＿＿＿＿を確立した。

○ 文化の陰の立役者

●同朋衆

室町時代、将軍の傍に仕えて雑事・芸能に従事した集団を**同朋衆**（どうぼうしゅう）と呼んだ。

→同朋衆は、将軍を楽しませるために様々な技術を磨き、文化の発展に貢献した。

→同朋衆は「○阿」「○阿弥」と名乗り、例えば祖阿や観阿弥・世阿弥が該当する。

⇒河原者出身の(27)＿＿＿＿＿は、足利義政に仕える同朋衆になり、大徳寺大仙院庭園を手がけた。